

レーザー機器使用許可申請書

年 月 日

フェニーチェ堺 副館長 磯田 直弘 様

申請者

住 所 _____
団体名 _____
代表者 _____
電 話 _____

次のとおりレーザー機器の使用について申請します。

施 設 名						
公 演 名						
使 用 日 時						
使 用 機 器 欄に収まらない場合は、別紙にて提出	機器名	クラス	出力	使用電源	台数	備考
レーザー機器 安全管理責任者	氏名				資格の 有 無	
	連絡先					
作業員 (機器を操作する者に○)	氏名				氏名	
	氏名				氏名	
	氏名				氏名	
<添付書類> ☐ 図面（設置場所・ビーム経路を示したもの） ☐ 機器仕様書 ☐ 技能証明書（LASA安全管理責任者証明書） ☐ その他				<誓 約> レーザー機器を使用する際は、安全に十分配慮し、 許可条件を守るとともに、劇場職員の指示に従います。 (レーザー安全管理者) 所属: 住所: TEL: 氏名:		
<許可条件> ・ 観客への照射禁止 ・ 防犯カメラ、ITVのレンズ、プロジェクターのレンズ等への照射禁止 上記の条件を遵守すること条件に機器の設置、使用を認めます。 年 月 日 フェニーチェ堺 舞台技術担当 _____						

注意事項 ●非常時(地震等の災害発生時・機器の故障および観客が騒然となり、レーザー光線の照射が危険と思われる時など)際は直ちに使用を停止してください。

●レーザー機器の使用により当劇場の備品・設備を損傷させた場合は修繕費を負担していただきます。

●レーザー機器使用許可申請書、及び添付書類は実際に使用する内容でご記入ください。

●申請内容とご利用内容とに相違がある場合は、ご使用になれません。

レーザー機器使用における留意事項

レーザー機器を劇場で使用するときは

LASA安全基準・JIS規格(レーザー製品の放射安全基準)・全国公立文化施設協会の留意事項及び下記事項を順守し行なってください。

1. 書類提出

下表クラス3R・3B・4、またはそれ以上の機器を使用するにあたっては、以下の書類を使用する2週間前までに提出してください。

- ① レーザー機器使用許可申請書
- ② 図面（設置場所・ビーム経路を示したもの）
- ③ 技能を証明する物の写し(レーザー安全管理者・操作員)

2. レーザー機器のクラス表示について

下記に記載されている分類表に従い、該当する機器に応じた警告ラベル及び説明ラベルが必ず添付されたものをご使用ください。

<クラス分類表>

クラス	レーザー出力	危険度	機器添付ラベル
クラス3R	5mW 以下	光路上で直接ビームを観察することは危険であるが、その危険性はクラス3Bよりも低い。	警告ラベル及び説明ラベル
クラス3B	0.5W 以下	直接のビーム露光が通常危険となるレーザー。拡散反射の観察は、通常安全である。	警告ラベル及び説明ラベル
クラス4	0.5Wを超える	皮膚や可燃物に対して危険。	警告ラベル及び説明ラベル
クラス1	0.39 μ W 以下	何も問題ない。	説明ラベル
クラス1M		ビーム光路上で双眼鏡などの光学機器を使用する場合には、危険となりえる。	警告ラベル及び説明ラベル
クラス2	1mW 以下	目に対して人間が反応（瞬き等）すれば0.25秒以内の露光であればクラス1と同等	警告ラベル及び説明ラベル
クラス2M		ビーム光路上で双眼鏡などの光学機器を使用する場合には、危険となりえる。	警告ラベル及び説明ラベル

※クラス3以上はレーザー安全管理者設置のこと。ただしクラス2以下であっても安全講習を修了し、必要な技術的知識を有した方が操作してください。

3. レーザー安全管理責任者を設置すること

クラス3以上のレーザー機器を使用する際は「レーザー安全管理責任者」を設置し、その管理のもとで操作を行ってください。

4. レーザー機器の設置及び使用について

レーザー機器を舞台又はその他の場所へ設置する場合は、次のことに十分留意して使用してください。

- ① 観客に向けたレーザー光線の照射は絶対にしないでください。
- ② 防犯カメラ・ITVカメラに向けた照射は絶対にしないでください。万一劇場内のカメラに破損が認められた場合、現状復帰のため、修繕または新規購入の費用をご負担頂くことがあります。
- ③ レーザー機器や反射拡散ミラー等の設置は、十分に安全と思われる位置に堅牢に設置し、確実に固定してください。
- ④ レーザー機器と観客との間に一定の距離を確保してください。上方向については、観客が立ち上がることのできる床面より約2.5メートル以上の距離を確保してください。
- ⑤ 客席内にレーザー機器を設置する場合、容易に観客が機器に近づけることのないよう、また観客がレーザー光線の露光を受けないよう、防護柵やその他の方法により安全を確保してください。
- ⑥ 出火の原因となるため、舞台幕類への点静止照射は行わないでください。
- ⑦ ビームの経路上に可燃物や引火性の高い物などの障害物を置かないでください。
- ⑧ 機器の設置・設定が終了後、改めて観客に照射が行われていないか確認・点検し必ず安全措置をとってください。

5. その他

- ① 非常時(地震等の災害発生時・機器の故障及び観客が騒然となり、レーザー光線の照射が危険と思われる時など)の際は、直ちに使用を停止してください。
- ② レーザー機器の使用により当劇場の備品・設備・機構を損傷させた場合は、修繕費を負担して頂きます。
- ③ 万が一事故等が発生した場合、劇場の責に帰する場合を除き、当劇場は一切責任を負いません。

お問い合わせ・打ち合わせの際は下記の連絡先までお願いします。

堺市民芸術文化ホール フェニーチェ堺 舞台技術担当

電話番号 072-242-7344 (舞台技術直通)

メール gijyutsu@sakai-bunshin.com (舞台技術共有)

レーザー機器使用許可申請書
記入例

2026年7月12日

フェニーチェ堺 副館長 磯田 直弘 様

申請者

住 所 _____
団体名 _____
代表者 _____
電 話 _____

次のとおりレーザー機器の使用について申請します。

施 設 名	フェニーチェ堺 大ホール					
公 演 名	フェニーチェ堺 J-POPコンサート					
使 用 日 時	2024年11月8日(金)09:30 ～ 2024年11月10日(日)21:30					
使 用 機 器 欄に収まらない場合は、別紙にて提出	機器名	クラス	出力	使用電源	台数	備考
	PHAENONAccurate	3	5W	AC100V 5A	3台	舞台2台・客席1台
レーザー安全 管理責任者	氏名	堺 太郎		資格の 有 無	LASA会員	
	連絡先	090-1234-5678			LSA99999	
作業員 (機器を操作する者に○)	○	氏名	堺東 一郎		氏名	
	○	氏名	堺東 次郎		氏名	
		氏名	堺東 花子		氏名	
<添付書類> ☐ 図面（設置場所・ビーム経路を示したもの） ☐ 機器仕様書 ☐ 技能証明書（LASA安全管理責任者証明書） ☐ その他（ ）			<誓 約> レーザー機器を使用する際は、安全に十分配慮し、 許可条件を守るとともに、劇場職員の指示に従います。 (レーザー安全管理者) 所属：一般社団法人レーザーアートアンドサイエンス協会 住所：大阪府 堺市 堺区 123-456 TEL: 090-1234-5678 氏名：堺 太郎			
<許可条件> ・ 観客への照射禁止 ・ 防犯カメラ、ITVのレンズへ、プロジェクターのレンズ等への照射禁止 上記の条件を遵守すること条件に機器の設置、使用を認めます。 2024年10月20日 フェニーチェ堺舞台技術担当 _____						

注意事項 ●非常時(地震等の災害発生時・機器の故障および観客が騒然となり、レーザー光線の照射が危険と思われる時など)際は直ちに使用を停止してください。

●レーザー機器の使用により当劇場の備品・設備を損傷させた場合は修繕費を負担していただきます。

●レーザー機器使用許可申請書、及び添付書類は実際に使用する内容でご記入ください。

●申請内容とご利用内容とに相違がある場合は、ご使用になれません。